

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

令和4年度（令和5年4月公表）

事業所名 たじり ころ園(児童発達支援)

保護者等数（児童数） 29名

回収数

17

割合

58

%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17	0	0	0		●大阪府指導基準の1名当たり3㎡は満たしているが、児童の特性など配慮が必要な場合には室内に物品を置かないなど、リラクゼーションルームの設けて環境整備に努めている。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	15	1	0	1		●国の基準人員2名のところを4名の職員を配置している。 ●重症心身障がい児童、強度行動障がい児童が複数人利用のがあると対応に追われることがある。職員間の声掛けや、利用者様の特性など事前打ち合わせ役割分担を密に行って対応していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	0	0	1		●出来るだけ物を置かないように環境整備を行っている。 ●利用児の持ち物はここにカゴを用意して視覚支援をおこなっている。 ●施設内の危険箇所を日々確認し安全に過ごせるよう環境作りに努めたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	0	0	0		●細かなところまで毎日掃除し、その都度床のゴミ等を拾い清潔を保つよう努めている。 ●感染症流行時には特に徹底して掃除を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	17	0	0	0		●日々更新される療育の情報収集に力を入れ、きめ細やかな対応ができるよう努める。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	1	0	0		●児童発達支援ガイドラインに則り発達支援、家族支援、地域支援に関する視点を持ち計画作成を行っている。ポータープログラムを活用し、各発達領域に関しての項目も設けている。今後、個別支援計画の説明時間を増やし充実を図る。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16	1	0	0		●プログラムを用い評価を行っているが、保護者に分かる形を検討し伝達していく。 ●情報共有、支援対応検討など行うためにケース会議等を行っている。今後も続ける。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	17	0	0	0		●季節感が感じられるように企画を行い、前回のプログラムの反省から常に新しいバージョンアップを図った取り組みを行うように進めている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	1	1	2	●保育園通園中です。	●地域行事にも積極的に参加するようにし、私たちの役割を地域住民の方にも理解して頂けるよう努める。 ●交流頻度を増やし実施する。また、登園頂いている児童の移行先を把握した園外保育等も行う。
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	17	0	0	0		●利用前に面談を行い、契約前に重要事項説明書を用い説明をしている。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内	17	0	0	0		●個別支援計画作成後、支援内容の説明を行い記名をいただいてから支援に入るよう徹底している。
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	14	1	0	2	●個別療育のみ	●保護者が一緒に活動に参加できるプログラムや機会、支援内容の共有、家庭でもできる共有支援を共有しながら進めている。また毎月保護者会、保護者参加型の療育提供を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適 切 な 支 援 の 提 供	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題に ついて共通理解ができているか	18	0	0	0	●困った時、一緒に考えて下さったりす ごく助かっています。	●基本的に保護者同伴での通園を促し、 情報提供に力を入れています。フォロー の為に、連絡帳の記載を毎日行ってい る。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育 児に関する助言等の支援が行われている	16	1	0	0		●最低6月以内で個別の面談を行ってい る。 ●加えて登園、降園時に細かな情報提供 を行っている。今後さらに強化したいと 考えている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等 の開催等により保護者同士の連携が支 援されている	12	1	1	3	●個別療育のみ	●これまで年に一度、保護者参加型の 法人全体での保護者会「こころ夏祭り」 を行い、児童の活動の様子などをスラ イドショーで紹介するなど、保護者の 顔が見える形で連携支援する機会を作 っている。保護者会、また季節行事な ど保護者参加型の行事や研修を企画し てたが、コロナウイルスの影響もあり 中止した行事が多くある。現状に合っ た方法を模索し実施して参りたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れに ついて、対応の体制が整備されていると ともに、子どもや保護者に周知・説明さ れ、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されている	16	0	0	0		●職員全員にスマートフォンを配布し、 タイムラグをなくすよう努めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ●登園時、降園時に、児童から伝えることが現段階では難しいと考えられる事項を伝えるようにしている。 ●また連絡帳等で伝えることができなかった事などは降園後でも電話等で行っている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●こころ通信子供が楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当法人ではホームページの他にFacebookでの情報発信、月ごとの広報誌の発行も行っています。 ●ホームページやこころ通信からFacebookへのアクセスが可能ですので是非ご覧ください。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	14	0	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ●法人内でSNS等に掲載する場合、もしくは広報誌等で写真を載せる場合には個人が特定されないようマーク等を用い加工している。 ●また職員に対しても、法人内でスマートフォンの使用方法、児童への指導方法についての研修を行っています。
非常時	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	13	0	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルを策定し職員研修などを行っている。 ●避難訓練などを実施した場合には、連絡帳や直接お話するなど、発信を強化して参りたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
等 の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている	12	0	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ●月に一回、避難経路を確認するため子どもたちと避難訓練を行っている。また年に一回、自治体が発行している使用施設全体での総合避難訓練に参加している。 ●未だ理解が難しいお子さまもいらっしゃると感じています。様々な非常災害を想定し、繰り返し訓練を続け、いざという時に少しでもスムーズに行動できるよう務めます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	16	0	0	0	●毎回すごく楽しみにしています。	●続けて、楽しく通える環境を維持していきたいと考えている。
	23	事業所の支援に満足している	16	0	0	0	●満足しています。	●今後も、お子様の状況に合わせた対応を心掛けサポートさせていただきたいと考えています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。